注）3　各セグメント別の目的積立金等の取り崩しを財源とする費用の発生額は次のとおりです。

（単位：千円）

	学部・学府・研究院等	附属病院	応用力学研究所	生体防御医学研究所	情報基盤研究開発センター	先導物質化学研究所	合計
目的積立金の取り崩しを財源とする費用の発生額	9,569	—	—	—	—	—	9,569
前中期目標期間繰越積立金の取り崩しを財源とする費用の発生額	0	—	—	—	—	—	0

注）4　各セグメント別の減価償却費、損益外減価償却相当額、損益外減損損失等相当額、損益外利息費用相当額及び損益外除売却差額相当額、並びに引当外賞与増加見積額及び引当外退職給付増加見積額は次のとおりです。

（単位：千円）

	学部・学府・研究院等	附属病院	応用力学研究所	生体防御医学研究所	情報基盤研究開発センター	先導物質化学研究所	合計
減価償却費	5,772,092	5,404,860	367,162	158,630	718,216	457,097	12,878,061
損益外減価償却相当額	5,574,703	179,652	88,653	193,502	38,815	79,974	6,155,301
損益外減損損失等相当額	0	1,335	—	—	—	—	1,335
損益外利息費用相当額	3,100	118	—	—	—	—	3,218
損益外除売却差額相当額	△ 37,400	△ 72,795	—	△ 4,154	—	—	△ 114,350
引当外賞与増加見積額	△ 15,676	11,781	△ 468	2,755	1,642	△ 233	△ 197
引当外退職給付増加見積額	△ 304,892	222,766	△ 22,487	△ 33,546	20,267	△ 4,367	△ 122,260

注）5　附属病院セグメントにおける運営費交付金収益は、附属病院に関し国が予算積算した運営費交付金を収益化した場合の相当額と△302,399千円差額があります。これは国の予算積算額のうち中期目標・中期計画の達成並びに減収等、不測の事態に対処するための経費として拠出したこと等によるものです。

附属病院に関し国が予算積算した運営費交付金8,764,478千円のうち、7,620,711千円は収益化額、146,100千円は資産の取得、997,666千円は業務達成基準適用事業における業務未実施分として次年度以降へ繰越します。

注）6　当事業年度から、国立大学法人九州大学業務達成基準取扱要項に基づき、総長が指定した事業について業務達成基準を採用しております。

これに伴い、従来の期間進行基準によった場合に比べ、学部・学府・研究院等セグメントの運営費交付金収益及び業務損益が681,646千円減少し、また、附属病院セグメントの運営費交付金収益及び業務損益が997,666千円減少しております。

⑳　寄附金の明細

（単位：千円、件）

区分	当期受入額	件数	摘要
学部・学府・研究院等	4,749,158 (1,446,069)	40,585 (38,124)	注）
その他	1,207,443 (541,991)	1,112 (495)	注）
合計	5,956,601 (1,988,060)	41,697 (38,619)	

注）（　）は現物寄附によるもので、内数として記載しております。

㉑　受託研究の明細

（単位：千円）

区分	期首残高	当期受入額	受託研究等収益	期末残高
学部・学府・研究院等	1,402,819	4,500,206	5,157,571	745,454
病院	335,853	358,326	458,748	235,431
その他	437,744	989,603	1,211,972	215,374
合計	2,176,417	5,848,135	6,828,292	1,196,260